

中甚兵衛

中甚兵衛は河内国今米村（今の東大阪市）の庄屋で、大和川のつけかえを求める運動に中心となって取り組みました。そして、その豊かな知識やだれにも負けない熱意が幕府に認められ、つけかえ工事のときには普請御用（手伝いの責任者）として活躍することになりました。その後も新田開発などに取り組みましたが、間もなく仕事をやめています。つけかえが決定したときはすでに65歳になっていましたが、92歳まで長生きしたそうです。

つけかえその後

大和川がつけかえられたため、河内平野の人たちは、洪水をあまり心配する必要がなくなりました。そして、深野池や新開池、それまで川が流れていた土地などにたくさんの田畑がつくられるようになりました。このような土地は新田とよばれ、つけかえ工事から5年後には、1,000ヘクタールもの面積になりました。新田では米もつくられましたが、綿の木が植えられ、この綿が河内木綿として全国的に有名になりました。このように、少しずつ生活が豊かになった人たちも多かったようです。

新しく大和川がつけられたところでは、270ヘクタールほどの土地が失われました。土地を失った人々には代わりの土地が与えられましたが、住みなれた村から離れていたため土地をてばなしたり、村をはなれる人も少なくありませんでした。また、北への流れを新しい大和川にさまたげられるようになった西除川や東除川のまわりの土地では、水はげが悪くなり、洪水の被害もおきるようになりました。新しい大和川が運ぶ土や砂は、堺の港をうめてしまいました。たくさんの荷物を運んでいた剣先船も、新しい川を通るようになって時間がかかるようになったため、あまり利用されなくなっていきました。つけかえ工事に反対していた人たちの心配していたことが現実のものとなったのです。このように、つけかえ工事によって、河内平野では洪水の被害が少なくなり、たくさんの土地が田畑に生まれかわりましたが、苦勞することになった人たちがいたこともわすれることはできません。

○このリーフレットは、2003年9月25日～12月7日に開催する秋季企画展「流れをかえる大和川」に伴って作製したものです。

○資料の借用・写真の掲載等に中好幸氏、小泉光氏、藤井寺市史編さん室のご協力をいただきました。



中甚兵衛肖像画



中甚兵衛着用の鹿茸陣羽織

柏原市立歴史資料館

〒582-0015 大阪府柏原市高井田1598-1
TEL 0729-76-3430

流れをかえる大和川

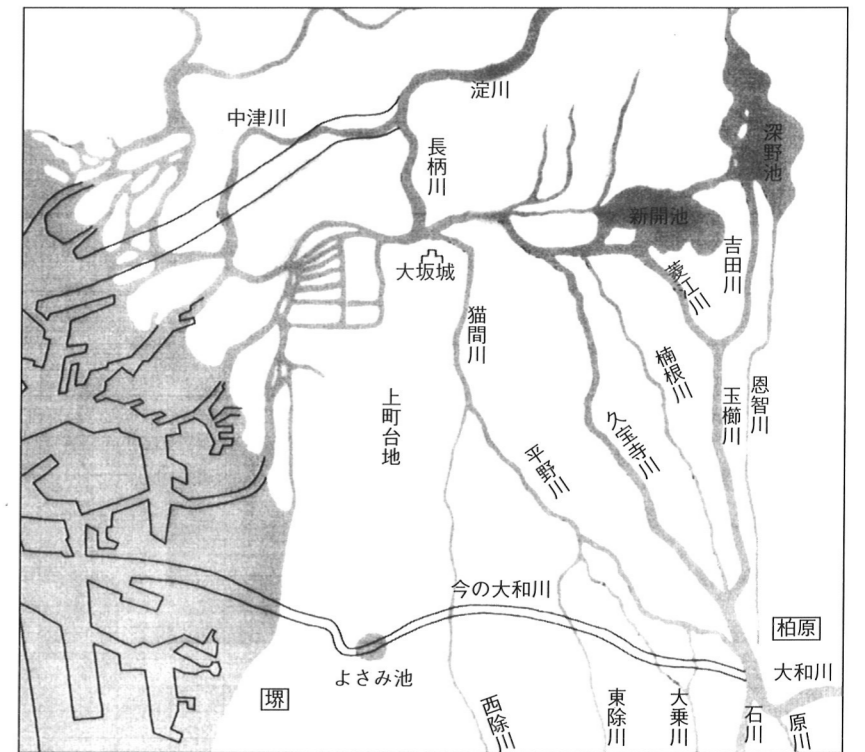
—つけかえ決定から300年—

2003年9月25日～12月7日

柏原市立歴史資料館

つけかえまでの大和川

柏原市から西へ向かって流れている大和川は、江戸時代の宝永元年（1704）につけかえられた人工の川です。つけかえまでの大和川は、久宝寺川（長瀬川）や玉櫛川（玉串川）など数本の流れに分かれて、北または北西に向かって流れ、淀川に合流していました。奈良盆地の水と中・南河内の水を集める大和川は、水とともにたくさんの土や砂を運んできます。その土や砂が低い土地をうめ立てることによって大阪平野が作られました。そのおかげで、大阪平野にはたくさんの人が住むようになり、たくさんの田や畑が作られるようになりました。



つけかえまでの大和川

しかし、いつまでも大和川は土や砂を運び続けます。大和川の運んできた土や砂は川の底を浅くし、流れを緩やかにしてしまいます。そうすると、大雨が降って水がふえたときに洪水がおこりやすくなってしまいます。人々は堤防を高くしたり、川の底を掘り下げたりして、洪水がおこらないようにしましたが、やはり自然の力に勝つことはできません。やがて大和川は周辺の土地よりも川底が高くなった天井川となりました。天井川になると、洪水がおこったときの被害はますます大きくなります。そのため、大和川の近くに住んでいる人たちは、大和川をつけかえてほしいと願うようになり、江戸幕府につけかえを求めるようになりました。このように始まったつけかえを求める運動ですが、つけかえ工事が実現するのはそれから50年もたってからのことだったのです。

つけかえを願った人たち

何度（なんど）もくりかえされる洪水（こうずい）に苦しむ（くるしみ）人（ひと）たちは、350年（ねん）ほど前に（まえ）、今米村（いまごめむら）（今の東大阪市）の中甚兵衛（なかじんべゑ）を中心に、大和川（やまとがわ）の流れ（なが）をかえるように江戸幕府（えどばくふ）に訴（うた）えるようになりました。その理由（りゆう）は、①洪水（こうずい）で家（いへ）や田畑（たはた）が砂（すな）に埋（う）まってしまい、作物（さくもつ）もとれず（とれず）に生活（せいかつ）にこまる。②洪水（こうずい）のないときでも水（みず）はけが悪（わる）い。③大和川（やまとがわ）をつけかえれば多くの農（い）民（みん）が助（たす）かる。④川（かわ）や池（いけ）のあと（あと）に新（あたら）しい土地（とち）ができるので、作物（さくもつ）もふえて年貢（ねんぐ）もたくさんおさめられるようになる。⑤堤防（ていぼう）をな（な）おすために使（つか）っていたお（お）金（かね）がい（い）らなくなる。など（など）という（いう）ものでした。

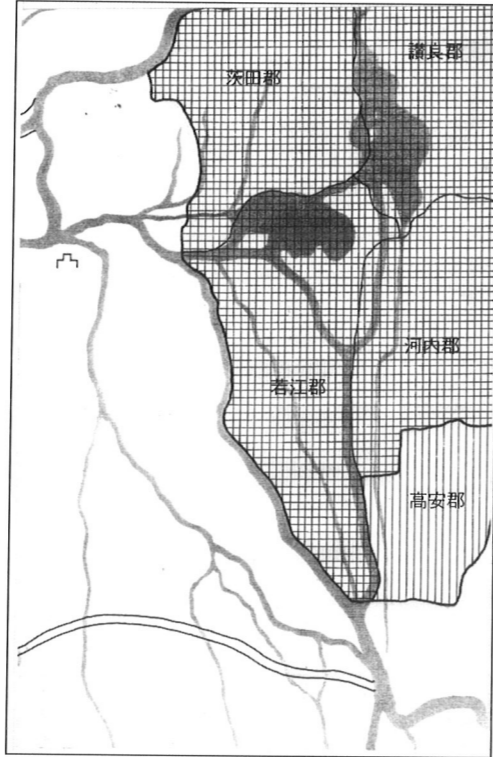
つけかえを願（ねが）っていたのは、河内（かわち）・若江（わかえ）・讃良（さんら）・茨田（いただ）・高安郡（たかやすぐん）など、もとの大和川（やまとがわ）の周（しゅう）辺（へん）に（に）くらす人（ひと）たち（たち）と考（かんが）えられま（ま）す。しかし、つけかえを認（みと）めない幕府（ばくふ）の厳（きび）しい態（たい）度（ど）から、洪水（こうずい）がお（お）こらないよ（よ）うな工（こう）事（じ）を求（もと）める運（うん）動（どう）に変（か）わっていきま（い）した。

つけかえに反対した人たち

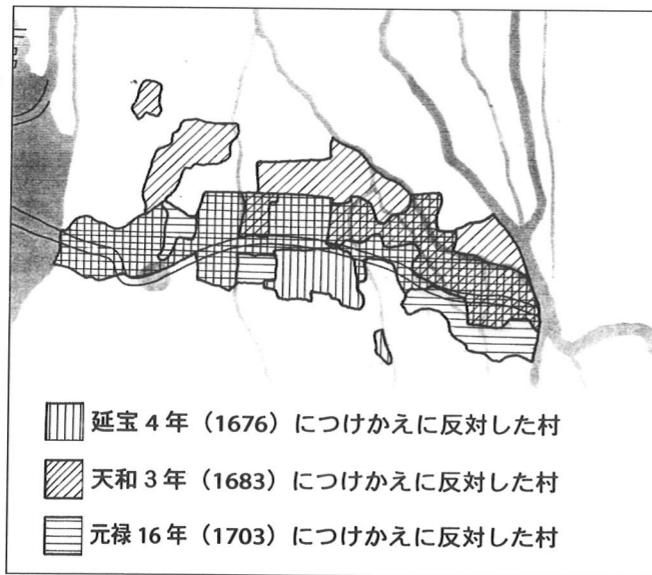
しかし、新（あたら）しい大和川（やまとがわ）がつくられる計（けい）画（かく）が出（だ）されると、その周（しゅう）辺（へん）の村（むら）に住（す）む人（ひと）たち（たち）を中（ちゅう）心（しん）に、つけかえに反（はん）対（たい）する運（うん）動（どう）がお（お）こりました。反（はん）対（たい）する人（ひと）たちは、①先（せん）祖（ぞ）から受（う）けついできた田畑（たはた）が川（かわ）の底（そこ）にな（な）ってしま（ま）う。②南（みな）から流（なが）れていた川（かわ）が新（あたら）しい大和川（やまとがわ）にさ（さ）えぎられ、南（みな）側（がわ）では洪（こう）水（すい）がお（お）きやす（やす）くなる。③北（きた）側（がわ）では水（みず）不（ふ）足（そく）になる。④自（じ）然（ぜん）にさ（さ）か（か）ら（ら）つて流（なが）れをか（か）えるので堤防（ていぼう）がこ（こ）われやす（やす）くなる。⑤道（どう）路（ろ）がと（と）ぎ（ぎ）れて不（ふ）便（べん）になる。⑥今（いま）ま（ま）でのよ（よ）うに船（ふね）が通（とお）れな（な）く（く）なり、荷（に）物（ぶつ）を運（うん）ぶの（の）にこ（こ）まるし、船（ふね）で働（はたら）いていた人（ひと）たち（たち）の仕（し）事（ごと）がな（な）くなる。⑦堺（さかい）の港（みなと）が新（あたら）しい大和川（やまとがわ）の運（うん）ぶ土（つち）や砂（すな）でう（う）ま（ま）ってしま（ま）い、大（おお）きな船（ふね）が出（で）入（い）りでき（き）な（な）くなる。など（など）と考（かんが）えま（ま）した。

延宝4年（1676）につけかえが検（けん）討（たう）されたとき（とき）は、周（しゅう）辺（へん）の30（さんじゅう）の村（むら）が反（はん）対（たい）しま（ま）した。天和3年（1683）には現（げん）在（ざい）より（より）も北（きた）のほう（ほう）を流（なが）れるつけかえが計（けい）画（かく）され、その計（けい）画（かく）地（ち）周（しゅう）辺（へん）の27（にじゅうなな）の村（むら）が反（はん）対（たい）しま（ま）した。元禄16年（1703）には、ほ（ほ）ぼ（ぼ）現（げん）在（ざい）の大和川（やまとがわ）のつけかえが決（けつ）定（てい）されること（こと）になり、そのとき（とき）には33（さんじゅうさん）の村（むら）が反（はん）対（たい）して（して）いま（いま）す。

このよ（よ）うに、つけかえが計（けい）画（かく）され、検（けん）討（たう）されるた（た）び（び）に、その計（けい）画（かく）地（ち）周（しゅう）辺（へん）に（に）くらす人（ひと）たち（たち）が、つけかえ反（はん）対（たい）に立（た）ち上（あ）がること（こと）が50（ごじゅう）年（ねん）のあいだ（あいだ）くりかえされま（ま）した。



つけかえを願った人たち



つけかえに反対した人たち

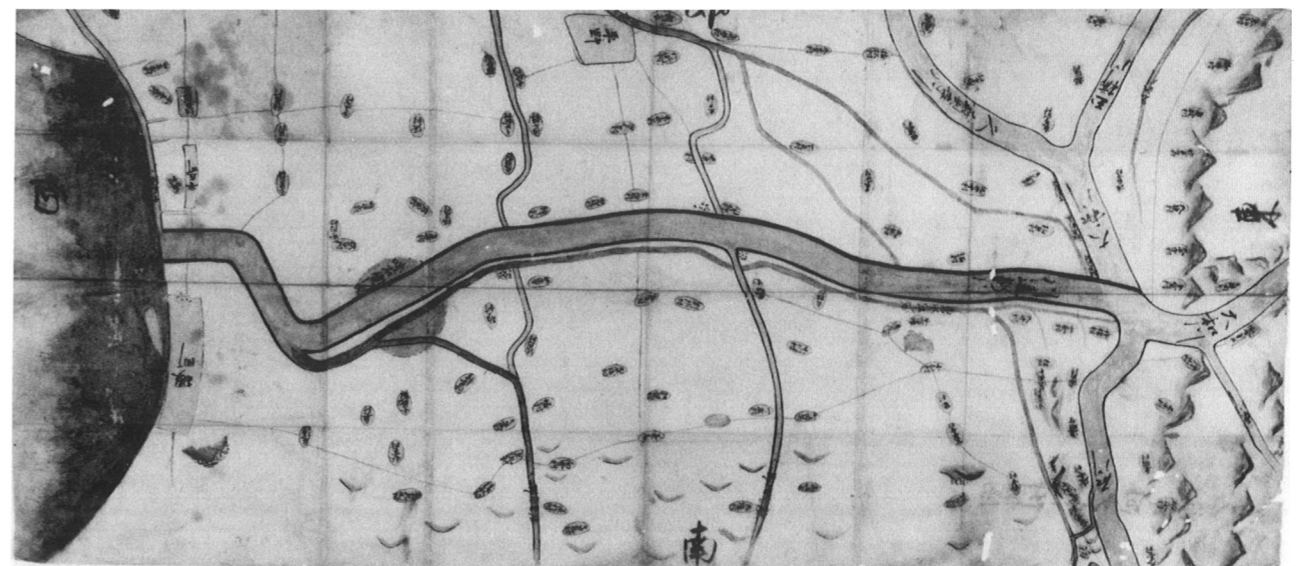
つけかえ決定

残（のこ）された史（し）料（りょう）からみ（み）ると、つけかえを求（もと）める運（うん）動（どう）が始（はじめ）まってからつけかえられるまでの50（ごじゅう）年（ねん）のあいだ（あいだ）に、幕府（ばくふ）によるつけかえの検（けん）討（たう）が少（すく）なくとも5（ご）回（かい）行（おこな）われています。そのた（た）び（び）に反（はん）対（たい）をする人（ひと）たち（たち）の運（うん）動（どう）など（など）もあ（あ）つて中（ちゅう）止（し）されていま（いま）した（た）が、最（さい）後（ご）につけかえられること（こと）に決（けつ）ま（ま）ったのが元禄16年（1703）のこと（こと）で、今年（ことし）2003（にん）年（ねん）はつけかえが決（けつ）定（てい）されてから300（さんひゃく）年（ねん）という（いう）こと（こと）になり（な）ります。それ（それ）で（で）は、つけかえま（ま）での歴（れき）史（し）をもう少（すこ）し（し）くわ（く）しくみ（み）てみ（み）ま（ま）し（し）ょう（ょう）。

何（なん）度（ど）か（か）つけかえが検（けん）討（たう）されたあ（あ）と（と）、元（げん）和（わ）3（さん）年（ねん）（1683）に幕府（ばくふ）は真（ま）剣（けん）に大和川（やまとがわ）の洪（こう）水（すい）対（たい）策（さく）に取（と）り組（く）みま（ま）す。このとき（とき）にもつけかえが検（けん）討（たう）されたよ（よ）う（う）ですが、洪（こう）水（すい）対（たい）策（さく）工（こう）事（じ）など（など）を得意（とくい）としていた河村瑞賢（かわむらざいけん）が、淀川（よどがわ）との合（ごう）流（りゅう）点（てん）付（つ）近（きん）で水（みず）が流（なが）れやす（やす）くなるよ（よ）うな工（こう）事（じ）をす（す）れば、つけかえは必（ひつ）要（よう）ないとい（い）う結（けつ）論（ろん）をだ（だ）し、淀川（よどがわ）の工（こう）事（じ）にとりか（か）かり（か）ります。しかし、河内（かわち）での洪（こう）水（すい）はま（ま）ったく減（へ）りま（ま）せ（せ）ん（ん）で（で）した。そこ（そこ）で、貞享4年（1687）につけかえを求（もと）める訴（うた）えとなる（なる）のですが、幕府（ばくふ）はつけかえの必（ひつ）要（よう）はな（な）いとい（い）う厳（きび）しい態（たい）度（ど）で、訴（うた）えが実（じつ）現（げん）しな（し）ないど（ど）ころか（か）つけかえをあ（あ）きらめ（め）る人（ひと）が多（おほ）くな（な）っていき（い）ま（ま）した。

そのあ（あ）と（と）も洪（こう）水（すい）はお（お）さま（ま）らず、元（げん）禄（ろく）13（じゅうさん）年（ねん）（1700）には42（よんじゅうに）の村（むら）で年貢（ねんぐ）がお（お）さめられな（な）いとい（い）うひどい（ひどい）状（じょう）況（きやう）とな（な）りました。そこ（そこ）で、幕府（ばくふ）も元（げん）禄（ろく）16（じゅうろく）年（ねん）（1703）10（じゅう）月（げつ）に、と（と）う（う）と（と）う（う）つけか（か）えること（こと）を決（けつ）定（てい）しま（ま）した。多（おほ）くの人（ひと）々（々）がつけかえをあ（あ）きらめ（め）るよ（よ）う（う）にな（な）って、よ（よ）う（う）やく（やく）つけか（か）えが実（じつ）現（げん）する（する）こと（こと）にな（な）った（た）ので（で）す。当（たう）然（ぜん）、新（あたら）しい大和川（やまとがわ）の計（けい）画（かく）地（ち）周（しゅう）辺（へん）に（に）くらす人（ひと）たち（たち）は反（はん）対（たい）を訴（うた）えますが、一（いち）度（ど）決（けつ）定（てい）した（した）こと（こと）を（を）変（か）えること（こと）は（は）でき（き）ず、宝（ほう）永（えい）元（げん）年（ねん）（1704）には工（こう）事（じ）が（が）始（はじめ）られ（ら）れること（こと）にな（な）った（た）ので（で）す。

工（こう）事（じ）は大和川（やまとがわ）と石川（いしかわ）が合（ごう）流（りゅう）する（する）ところ（ところ）（柏原（かしはら）の築留（つきどめ））に堤防（ていぼう）をつ（つ）くり、さ（さ）かい（かい）へ（へ）西（にし）に流（なが）れる新（あたら）しい川（かわ）をつ（つ）くるとい（い）うもの（もの）で（で）した。平（へい）地（ち）には土（つち）をつ（つ）んで堤防（ていぼう）をつ（つ）くり、瓜（うり）破（や）や浅（あ）香（か）の台（だい）地（ち）を掘（ほ）りす（す）み、川幅（かわはば）180（ひゃくはちじゅう）メ（メ）ートル（ートル）、長（なが）さ14.3（じゅうしに）キ（キ）ロメ（メ）ートル（ートル）とい（い）う大（おほ）きな川（かわ）です。川（かわ）辺（へん）村（むら）（今の大阪市平野区）より東（あづま）を江戸幕府（えどばくふ）、西（にし）を姫路（ひめじ）・岸和田（きしわだ）・三田（さんだ）・明石（あかし）・高取（たかとり）・柏原藩（かしはらはん）などの大名（だいみょう）が工（こう）事（じ）を（を）行（おこな）い、2（に）月（げつ）の（の）後（ご）半（はん）にはじ（は）まった工（こう）事（じ）は、早（はや）くもその年（ねん）の10（じゅう）月（げつ）13（じゅうさん）日（にち）には完（かん）成（せい）しま（ま）した。お（お）よ（よ）そ（そ）7（しち）ヶ（が）月（げつ）半（はん）とい（い）うス（スピー）ー（ード）工（こう）事（じ）で（で）した。この間（あいだ）に、毎（まい）日（にち）お（お）よ（よ）そ（そ）13,000（さんじゅうさんひゃく）人（にん）の（の）人（ひと）たち（たち）が働（はたら）き、71,503（しちじゅういちご）両（りょう）のお（お）金（かね）が（が）か（か）か（か）った（た）と（と）さ（さ）れて（て）いま（いま）す。1（いち）両（りょう）を20（にじゅう）万（まん）円（えん）と（と）して計（けい）算（さん）すると、今（いま）のお（お）金（かね）に（に）して140（ひゃくしじゅう）億（おく）円（えん）ほ（ほ）ど（ど）か（か）か（か）った（た）こと（こと）にな（な）ります。



川違新川図（新大和川とそのほかの川の位置関係をしめした図）